

令和6年度 奈良県総合医療センター

医療事故・ヒヤリハット 分類別 合計発生件数（転倒・転落を除く）

事故の分類	合計(件)	構成比(%)
薬剤	1,718	37.8%
輸血	52	1.1%
治療・処置	239	5.3%
医療機器	293	6.5%
ドレーン、チューブ	546	12.0%
検査	614	13.5%
療養上の世話(転倒転落以外)	399	8.8%
その他	681	15.0%
合計	4,542	100.0%

医療事故・ヒヤリハット レベル別 合計発生件数（転倒・転落を除く）

レベル分類	合計(件)	構成比(%)
0	1,243	27.4%
1	1,348	29.7%
2	1,072	23.6%
3a	736	16.2%
3b	115	2.5%
4	6	0.1%
5	22	0.5%
合計	4,542	100.0%

(参考)医療事故等の分類(転倒・転落を除く)

レベル	傷害の継続性	傷害の程度	傷害の内容と基準
0	-	-	エラー・不具合に気づき、患者には実施されなかった
1	なし	-	エラー・不具合に気づかず実施したが、患者への実害はなかった
2	一過性	軽度	行った医療または管理により、患者に影響を与えたが、処置や治療を要しなかった
3a	一過性	中等度	行った医療または管理により、本来必要でなかった簡単な処置や治療(消毒、湿布、鎮痛剤投与等の軽微なもの)を要した
3b	一過性	高度	行った医療または管理により、本来必要でなかった濃厚な処置や治療を要した
4	永続的	軽度 ~ 高度	行った医療または管理により、永続的障害が残った 障害が軽度から中等度の場合は4a 障害が中等度から高度の場合は4b
5	死亡	-	行った医療または管理により、死亡

令和6年度 奈良県総合医療センター

医療事故等(転倒・転落) レベル別 合計発生件数

レベル分類	合計(件)	構成比(%)	R5年度(件)	R6-R5(件)
A	315	68.9%	306	9
B	123	26.9%	119	4
C	6	1.3%	7	▲ 1
D	13	2.8%	20	▲ 7
E	0	0.0%	0	0
F	0	0.0%	0	0
合計	457	100.0%	452	5

(参考)医療事故等の分類(転倒・転落を除く)

レベル	傷害の程度	傷害の内容と基準
A	なし	患者に損傷はなかった
B	軽度	包帯、冷湿布、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた
C	中軽度	皮膚接合テープ・皮膚接着剤、縫合、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた
D	重度	骨折をきたして、ギプス、牽引、手術が必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷のため治療が必要となった
E	死亡	転倒による損傷の結果、患者が死亡した
F	不明	記録からは判定不可能